

## 2015年度 認定 NPO 法人キーパーソン21事業計画案

## 【キーパーソン21の活動目的】

ひとりでも多くの子どもたちに将来について考えるきっかけを持たせ、視野を広げ社会へ旅立つことの自覚と自立心を促し、夢と勇気をもって、生き生きと自己実現へ向かってすすめる喜びを知ってもらうこと。

## 【2015年度の目標】

1. 中高校生世代を対象とした個人対応プログラムをスタートする
2. 親向け事業をスタートする
3. 教員支援プログラムを強化する
4. 大学生支援プログラムを強化する

**1 小中高校生世代を対象とするキャリア教育プログラムの実施事業****1.1 プログラム実施（小中高校生世代対象）**

3000名以上の子どもを対象に実施する。【実施計画一覧：別紙1参照】

- 「企業の子ども応援プロジェクト」を東京都港区、渋谷区、江東区、川崎市において実施する。
- 川崎市、横浜市などの小中高校において、会員、企業と連携し実施する。
- 大学生による高校生を対象としたプログラムを実施する。
- 生活保護受給家庭で育つ中学生へ「学習支援・居場所づくり事業」を川崎市と連携し通年実施する。（受験面接対策プログラムとして行う）
- 貧困家庭で育つ中学1～2年生を対象とした「学習支援・居場所づくり事業」を川崎市と連携し自主開催する。
- 川崎の児童養護施設の小学生へ「考える力や言葉の力」を育成するプログラムを通年実施する。
- 「個別アクションプログラム」をモディファイした進路決定サポートプログラム「solo-solo」を本格始動する。

**1.2 プログラム研修（大人、学生対象）**

- プログラム実施に向けて児童生徒と向き合う大人を対象に事前研修を行う。
- 一般向けにわくわくナビゲーター養成講座を11回開催する。（すきなものビンゴ&お仕事マップ3回、（コミュニケーションゲーム3回、かつこいい大人ニュース1回、個別アクションプログラム3回、わくナビプロ育成の講座を1回）
- 企業向け事前研修を年間10回程度行う。

## 【一般・会員向け わくわくナビゲーター養成講座の開催予定】

4月18日～19日	コミュニケーションゲーム	トレーニング1～3
5月16日～17日	すきなものビンゴ&お仕事マップ	トレーニング1～3
5月23日～24日	個別アクションプログラム	トレーニング1～3
6月13日～14日	個別アクションプログラム	トレーニング1～3
6月27日～28日	コミュニケーションゲーム	トレーニング1～3
7月25日～26日	solo-solo わくナビプロ養成講座	トライアル実施予定
8月22日～23日	コミュニケーションゲーム	トレーニング1～3
8月22日～23日	すきなものビンゴ&お仕事マップ	トレーニング1～3@大阪開催
9月12日～13日	すきなものビンゴ&お仕事マップ	トレーニング1～3
10月3日～4日	個別アクションプログラム	トレーニング1～3
秋開催	かつこいい大人ニュース	

### 1.3 協賛企業開拓

学校からの要望にお応えするために、協賛協力企業獲得に向けた営業をする。

- 営業、広報の専門メンバーを中心とし、学生会員、および社会人会員が一つのチームとして営業活動を実施する。特に、東京都内（渋谷区、港区、江東区等）、川崎市内の企業、団体を中心に連携の普及を強化する。
- 引き続き、認知活動（キーパーソンを知ってもらう）から、見学・体験誘致活動（キーパーソンプログラムを体験してもらう）に重点を置き、ポテンシャルのある（活動に興味のある）人材・企業に対する絞った営業活動をさらに強化し継続する。特に、認知活動においては、企業や団体担当者 に分かりやすく、親しみやすいツールの開発を強化することにより、見学等に足を運んでいただくことを誘致していく。
- 既存協賛協力企業との交流を深める会や、認知を高める会などを企画開催する。
- 連携実施企業、協賛企業 25 社の協力を確保が必要。

【現時点支援企業】株式会社 WOWOW、スカパーJSAT 株式会社、日本コカ・コーラ株式会社、北浜こどもクリニック、NKK シームレス鋼管株式会社、株式会社ジェーシービー、株式会社 V S N、株式会社電通、株式会社 アルバイトタイムス、東京 J A P A N 税理士法人、アイエスエフネットグループ、株式会社カヤバ、一般社団法人ソーシャルビジネス支援協会、ハタモク、一般社団法人全国異業種連携協議会、富士通株式会社、株式会社言語生活サポートセンター

### 1.4 プログラム開発

現場の課題やニーズにそったプログラムの開発を続ける。

- 親向けのプログラム
- 教員研修プログラム
- 教員志望の大学生への支援プログラム
- 高校生を対象とする大学生による講演プログラムのバージョンアップ
- 中高生を対象とした個人対応のプログラムの充実
- 中学生を対象とした面接対策プログラムの充実
- 児童養護施設の小学生を対象に「考える力や言葉の力を養う」ことを目的にしたプログラムを開発
- シニアによるプログラムの開発

## 2 プログラム普及啓発

### 2.1 プログラム普及

- ・全国各地においてプログラム実施するパートナーに対して管理・対応・発展のサポートを行なう。
- ・「夢！自分！発見プログラム」わくわくナビゲーター資格認定制度を維持管理する。認定委員会を開催（12月と3月）する。認定委員は、教育関係者、高校教員などキャリアに関する有識者に継続依頼する。
- ・「夢！自分！発見プログラム」の講師養成マニュアルを整備する。

### 2.2 広報活動

学校におけるプログラム実施費用の不足分確保、川崎における学習支援居場所づくり自主事業の実現のための費用確保、会員数拡大、協賛企業数の拡大をめざし、絶対的な認知度を高めることを目標とし、効果的な広報を行う。

- 新ホームページ、顧客管理システムと連動したメルマガ改革および代表ブログの定期配信（メルマガ・代表ブログの隔週配信）
- 発信媒体へのアプローチ数増大（メルマガ：登録 2000 名、WEB サイト：100,000PV、FB：5,000 いいね！twitter：1,000 フォロワー）
- 講演、対談、研修等、代表の登壇機会の創出

【予定】

一般・キャリアコンサルタント対象：5月16日 CC 研究会、他  
教員研修：5月19日渋谷区教育委員会 2 年目教員研修、9月26日進路指導協会、他  
大学講義：6月11日立正大学、6月15日東洋大学、6月29日高千穂大学、8月1日専修大学、他  
保護者向け：12月5日（土）相模原市寒川中学校保護者向けプログラムの実施、他

## Key Person21

シニア向け：7月31日内閣府高齢社会フォーラム

行政向け：、8月3日神奈川県保健福祉局職員研修、他

- 代表対談の復活6回
- 活動の報告、会員や会員外の交流、新たな事業創出の発掘や新規事業の広報を目的に、「キーパーソン21の日！」などの広報イベントを4回開催する。

### 【予定】

9月 企業向け

12月 親向け

1月 教員向け

3月21日 大学生お祝いの会

- コアメッセージの力強い発信、ステークホルダー別のアプローチ、ツールの制作 団体パンフレットの作成
- 学校実施プログラムの活動分析および白書発行
- ファンドレイジング・サイトを活用し、資金調達基盤の多様化と一般認知度向上に取り組む。

## 3 社会参加支援事業

### 3.1 学生への社会参加支援事業

- 学生会員が自分で考え行動し、責任を持ち、社会に貢献する人となることができるように活動サポートする。チーム運営のサポート、大学生が高校生へ行なうプログラムのバージョンアップと実施サポート、講演プログラムの実施の際に、会員より、原稿作成、プレゼンアドバイスなどの支援、学生による広報、普及活動、ホームページの学生のページづくりのサポート、大学生の就職サポート

### 【予定】

高校4校：東京都立町田高校定時制、東京都立桜町高校定時制、私立山村学園、平塚商業高校定時制

- 株式会社博報堂の実践するH-CAMPへのアドバイザー協力：6～10程度回予定

### 3.2 大人からシニア世代の社会参加支援活動

7階のわくわくステーションを活用し、事業をより促進するための学習会などを開催

- ドラッカー勉強会4回
- EQ学習会
- マーケティング勉強会、他

※以上を実行のため事務局体制を強化。

## 2015年度 活動予算書

(特定非営利活動に係る事業会計)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人キーパーソン21

科 目	金額(円)	備 考
I 経常収益		
1. 会費 (個人・団体)	3,500,000	法人、個人、学生 計250名
2. 寄付・賛助金	5,000,000	寄付 賛助会員、カンパ
3. 事業収入		
① 小中高校生に対するキャリアプログラムの実施事業		
実施校謝礼	4,170,000	川崎高校、町田高、平中、山村学園、横浜デザイン、
企業の子ども支援 (寄付)	8,350,000	北浜クリニック、WOWOW、スカパー、他
学校参加研修	2,730,000	わくナビ、教員研修
委託・助成金	5,970,000	川崎市なかわく、寺子屋
② キャリアプログラムの普及啓発事業		
ア. パートナー連携事業	1,425,000	北見地域生活支援NET、啗啄塾 いわてキャリアコンサルタント研究会
イ. 広報事業	500,000	講演他
③ 社会参加支援事業 (大人～シニア対象セミナーの実施事業)		
受講料、参加料	1,030,000	イベント、就活
4. 雑収入	0	受取利息、他
5. 繰入金収入	0	その他の事業からの繰入
26年度経常収益計 (A)	32,675,000	

科 目	金額(円)	備 考
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給与、謝金	19,190,700	給与、運営担当者謝金、法定福利含む
(2) その他の経費		
旅費	1,980,000	運営担当者旅費(通勤定期含む)
外注・委託費	1,300,000	
広報費	720,000	広報
会議費	720,000	運営会議、打合せ他
通信費	630,000	郵送費、携帯電話、等
保険料	24,000	事務局室50%、7Fわくわくルーム
水道光熱	50,000	電気、水道
事務・消耗品	900,000	教材作成、事務用品、消耗品他
諸会費	84,000	活動他団体費、会費
家賃、他	1,453,200	(家賃+更新料)×0.7
雑費	176,000	手数料 他
事業費 計	27,227,900	
2 管理費		
(1) 人件費		
給与、謝金	1,937,300	経理、会員管理、庶務、法定福利含む
(2) その他の経費		
旅費	220,000	事務局通勤費他
外注費	0	
広報費	80,000	
会議費	80,000	事務局、会場、茶菓
通信費	70,000	電話、切手、宅配、インターネット
事務・消耗品費	100,000	事務用品、インク、コピー他
保険料	6,000	事務局室保険50%
水道光熱	50,000	電気、水道
諸会費	56,000	川崎商工会議所、他
家賃	622,800	(家賃304、704)×0.3
雑費	44,000	手数料 他
管理費 計	3,266,100	
27年度経常費 合計 (B)	30,494,000	
27年度正味財産増額 (税引き前) (A) - (B)	2,181,000	(単年度)